

## 本校へのアクセス

東武東上線 東京メトロ有楽町線・副都心線  
 「上板橋駅」徒歩10分 「小竹向原駅」徒歩20分  
 〒174-8711 東京都板橋区東新町2-28-1 TEL.03-3956-3157

## 学校説明会・イベント

10/ 6 (土)13:30~ クラブ公開  
 11/23(金・祝)10:00~ 10/27(土)13:00~  
 12/ 1 (土)13:30~ 体験授業 10/20(土)13:00~ 全てweb予約

## 教育目標

## 人間形成と大学進学

本校の教育目標は「人間形成と大学進学」です。これは建学以来変わっておりません。人間形成とは、「社会に有為な人間の育成」「社会を支え、社会を導くリーダーとして活躍する人間の育成」です。そのためには、信頼される誠実さ、広い視野、優れた判断力と問題解決力、思いやり、優しさ、多様化を受け入れる広い心などが必要となります。これらは人間としての魅力、いわゆる「人間力」と言えます。近年のAI(人工知能)の進化は目覚ましいものがあります。しかし、まだAIでは解決できない問題、対応できない問題が多くあります。そういった難関に対峙できる力、乗り越えられる力こそ「人間力」だと考えています。その上で、人の心を動かすような魅力を備えてこそ本当の「個性豊かな人材」とい

えるでしょう。学園の庭に、一本のヒマラヤ杉が大きく育っています。このどっしりと成長したヒマラヤ杉のように、生徒たちも天にまっすぐ伸びる凛とした大樹に育ってもらいたい。また大樹の下には土の中でしっかりと根を張っていることも忘れてはなりません。見た目だけではなく、見えない部分、中身の部分も大きく成長していってもらいたい。それが本校の願いであり、大きな目標です。



校長 小保 力

## どういう学び方をするの?

同校の指導は、基礎学力の定着から始まり、自律的学習、探究型学習へと段階的に発展させていくことに特色があります。そのため、中高の6年間を「基礎期」「錬成期」「習熟期」の3期に分けて連携させる独自の教育プログラムを採用。生徒の発達段階に応じて目標(基礎期では「基礎的な生活習慣の確立と基礎学力の定着」、錬成期では「自律的・自主的な学習習慣と将来に向けた適性の発見」、習熟期では「より高度な学力や豊かな教養と将来ビジョンの実現」)を掲げ、一人ひとりの生徒が目標の達成に向かって努力し、成長が遂げられるように指導していくのです。教科指導では、英語・数学・国語の授業時間を多めに設定し、芸術系、体育にも力

を入れています。英語では「英語の学び方」を示すことで、自律的な学習を促進します。読む・聞く・書く・話すの4技能をバランスよく伸ばすために、課題解決や発表など生徒の能動的な取り組みを用意しています。数学では単に答えを出すのではなく、何故そのように解くのか、どのような思考過程を経てその結果に至るのかを明確に説明できる能力の育成に努めています。国語では、授業を生徒と良質な文章の出会いの場と位置づけ、作品を丁寧に読解する姿勢を大切にしているとのこと。自分が考えたことを

発表し合い、他者の考えを聞くことでより理解を高めることを大事にし、自身の思考を的確に他者に伝えるための表現力を鍛えることにも力を注いでいます。他教科も含めて、生徒の思考力・表現力を錬磨し、的確に発信し、主体的に考え、問題解決できるように留意しているのが特徴です。

### 3期体制の狙い

生徒が成長の段階に合わせた目標を持つことで、着実に成長でき、大学進学へとつながる。



## 進路、進学に対する考え方は?

同校では、中学・高校時代は自分の進むべき道を発見する期間であり、学習は自分の適性・能力を見つけ出す知性を養うためにあると考えています。そのため、「どういう学び方をするの?」で紹介したように、6年間を基礎期、錬成期、習熟期に分けて連動させる3期指導体制を実施し、さらに進学指導の具体的な取り組みとして、日々の補習と、定期試験以外にも年間2~3回実施する校内実力試験・校外模試の学年全員受験、長期休暇中の講習会や特別講座の実施など多岐にわたります。さらに、大学入試の最新動向、卒業生の入試結果の集計データ、在校生に向けた合格者コメントなど

を載せた冊子を在校生に配布。さらに卒業生による入試懇談会では、大学受験体験談、大学での研究内容やその選択理由などを話してもらえますので、受験を控えた生徒たちのモチベーションは

高まります。思考力・表現力・判断力を求める2020年度以降の新しい大学入試に対しても、生徒の自律的・能動的な学習を刺激することで十全に対応していることは言うまでもありません。

| 国公立大学  | 2016 | 2017 | 2018 |
|--------|------|------|------|
| 北海道大学  | 7    | 2    | 5    |
| 東北大学   | 13   | 7    | 7    |
| 東京大学   | 11   | 16   | 12   |
| 一橋大学   | 5    | 7    | 8    |
| 東京工業大学 | 9    | 12   | 18   |
| 京都大学   | 2    | 6    | 5    |
| 大阪大学   | 5    | 5    | 1    |
| その他国公立 | 63   | 80   | 56   |
| 国公立合計  | 115  | 135  | 112  |

| 私立大学   | 2016 | 2017 | 2018 |
|--------|------|------|------|
| 早稲田大学  | 157  | 142  | 132  |
| 慶應義塾大学 | 74   | 97   | 107  |
| 上智大学   | 30   | 26   | 22   |
| 東京理科大学 | 133  | 115  | 129  |
| GMARCH | 299  | 294  | 362  |
| 医学部医学科 | 2016 | 2017 | 2018 |
| 国公立    | 17   | 11   | 15   |
| 私立     | 44   | 33   | 40   |

## ICT環境を整備し、生徒の創造性・独創性を育成

従来型のレクチャー形式の演習を繰り返して処理能力を高める授業を展開することで、輝かしい成果を上げてきたという自負がある一方、21世紀社会はAIやグローバル化が進展し、価値観の多様化がさらに進んでいく中、そのような時代に「船出」し、生き抜いていかななくてはならないのが今の子どもたちです。それに対処するには、従来の方法だけではなく、生徒の主体性からクリエイティビティ(創造性・独創性)を育てることが大事だと、同校は積極的に教育改革に取り組み、ICT環境の整備に努めています。昨年には「iRoom」を開設し(iRoomのiはICT(情報通信技術)IDEA(アイデア)INTEREST(興味関心)INTERACTIVE(双方向的)INQUIRE(探求する)の5つの意味があり、同ルームには生徒用のiPad Proや専用のペンシルなども用意されています)、すべてのHR教室にはICTユニットが導入され、校内全域のアクセスポイントが完了しています。現代社会は正解が簡単に見つかる時代ではありません。複雑な課題を独力で解決することもなかなか難しくなっていると言われます。正解には至らなくても論理を駆使して最善解を獲得すること、仲間と協力し知恵を集めることで課題を解決していかなくてはなりません。そのためには、自らの論理的思考力を磨くとともに、他者とのコミュニケーション能力を高めて、コラボしていく能力がなくてはならない時代なのです。また、課題を解決したいというその人の「情熱」が不可欠だとも言われます。同校の指導からは、ICTの機器は強力なコミュニケーションツールであり、時間と場所を超えて仲間を作ってほしい、ICTの機器は情熱を掻き立てるためのものであってほしいというメッセージを強く感じます。同校のICT教育は、コンピュータを駆使できるようになるのが目的ではなく、コンピュータを使って、未来において何ができるかということを探る試み、生徒の「未来のチャレンジ」を支えることなのです。



## グローバル人材育成のために国際教育を積極活用

社会のグローバル化にいち早く対応するべく、ICT教育とともに同校が積極的に取り組んでいるのが国際教育です。国際理解や異文化共生を進めていくために、同校では異文化交流としてのオーストラリア語学研修、国内留学としてのイングリッシュ・シャワー(5、6名のグループごとにネイティブ講師がついて、すべて英語で授業を行い、最終日にプレゼンを実施し発信力を磨く、中1~高1対象)、イングリッシュ・テーブル(月・水・

金の週3回、ネイティブの教員と昼食を食べながら話す)などを実施しています。英語の4技能が2020年度以降の新しい大学入試では求められることになりましたが、すでに同校では英語GTECテストを導入し、中2よりGTECのための対策指導も行っています。自由英作文やリスニング・スピーキングに慣れることができますので、新大学入試への対応も万全となるでしょう。



## 私学の魅力 スゴいい話

## 充実した教育環境、朝8時前から夕刻までの食堂



授業において主体的・能動的な展開が強く感じられたこと、新しい大学入試への対策だけではなく、ICT教育、国際教育の整備で、21世紀のグローバル社会に「船出する」生徒たちへのサポートも十分であること、生徒の未来での様々なチャレンジを支えていこうとしていることなどに感銘を受けました。城北と言えば、広いグラウンド、水球もできる室内プール、各クラブが体力づくりで利用して

いるトレーニングルームなど、その恵まれた環境を活かして勉強だけではなくクラブ活動も充実していることで有名ですが、さらに食育に留意していることでも知られています。充実したメニューとモーニング、昼食、そして夕方4時まで利用できますのでおなかのすく学生には好評です。そして20時まで開いている自習室で黙々と勉強に励む生徒の姿が印象的でした。